

《News》

お知らせ!

第5回遺跡発表会を開催

去る7月14日に佐倉市立中央公民館大ホールにて、第5回遺跡発表会が開催されました。今回は例年行っている調査遺跡の概要発表のほか、当センター職員による研究発表も行い、地域に根ざした研究の成果に、地元はもとより、他地域からも多くの考古学ファンが訪れ、熱心に耳を傾けていました。

また、これに併せて当センター展示室では「最新出土考古資料展」として、発表遺跡より出土した遺物を中心とした展示内容となっております。遺跡発表会に参加できなかった方は、是非とも足を運んでみてください。



第5回遺跡発表会

企画展「南羽鳥中岫第1遺跡E地点出土遺物展」を開催します

平成14年1月15日より、企画展「南羽鳥中岫第1遺跡E地点出土遺物展」を開催いたします。この遺跡は、成田市に所在する縄文時代前期を中心とした遺跡で、「人頭型土製品」が出土した遺跡として有名です。この「人頭型土製品」を始め土壙出土遺物が、平成13年3月30日付けで「千葉県有形文化財」の指定を受けております。

これらの遺物を中心とした展示を行う予定となっておりますので、是非ともご覧ください。



成田市

- 南三里塚宮原第1遺跡・第2遺跡(旧石器時代、近世)
- 南三里塚五十石込遺跡(近世)
- 南園護台遺跡第3地点(奈良・平安時代)

佐倉市

- 宮内井戸作遺跡(縄文時代)
- 宮内芋戸遺跡(縄文時代、古墳時代)
- 宮内南台遺跡(縄文時代、古墳時代)
- 内田端山越遺跡(旧石器時代～奈良・平安時代)
- 吉見稲荷山遺跡(縄文時代)

(四街道市)

- 谷津田遺跡(縄文時代)
- 前原No.2遺跡(縄文時代)
- 木戸場遺跡(縄文時代)
- 出口遺跡(古墳時代～奈良・平安時代)

《室内作業》

こつちもやっています!

本部

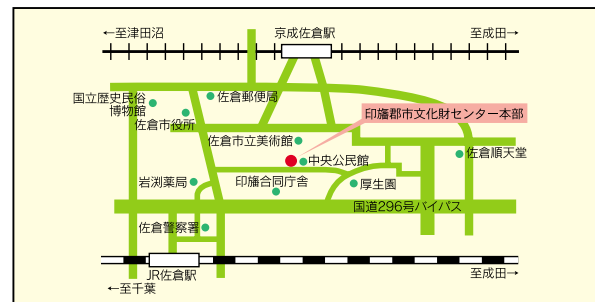
- 佐倉市錦木町198-3 043-484-0126
- 南作遺跡(四街道市、縄文時代～奈良・平安時代)
- 吉見稲荷山遺跡(佐倉市、縄文時代)
- 内田端山越遺跡窯跡(佐倉市、奈良・平安時代)
- 出口遺跡(四街道市、古墳時代～奈良・平安時代)
- 臼井台大名宿遺跡(第4次)(佐倉市、弥生時代～近世)

成田事務所

- 成田市飯仲字台畑330-1 0476-26-7208
- 下金山城跡(成田市、中・近世)
- 城山ノ作遺跡(佐倉市、縄文時代)
- 大久保遺跡(印西市、古墳時代～奈良・平安時代)
- 龍腹寺裏遺跡(本埜村、旧石器時代～中世)
- 権現堂遺跡(四街道市、弥生時代～中世)
- 郷野遺跡(四街道市、弥生時代)
- 酒々井町出土品整理(酒々井町)

《お知らせ》

上記の発掘現場、室内作業は見学できます。ご期待に添えない場合もありますので、かならず、事前にご連絡ください。詳細は本部へお問い合わせを!



平成13年10月15日 043(485)9871 043(484)0126(代) 043(485)9871 043(485)9871 http://www.inba.or.jp http://www.inba.or.jp http://www.inba.or.jp 発行・編集 財団法人 印旛郡市文化財センター vol.10



印西市 天神台遺跡(第9地点)



1号住居跡カマド内遺物出土状況



1号住居跡遺物出土状況

現在のJR木下駅の南側約1km、印西市大森地区に所在する天神台遺跡は縄文時代(早・中・後期) 弥生時代(後期) 奈良・平安時代にわたる広大な面積を有する遺跡です。さらに周辺には、古代寺院跡である木下廃寺跡、その木下廃寺の屋根を葺いた瓦を焼いた曾谷ノ窪瓦窯跡など奈良・平安時代の重要な遺跡が存在するところでもあります。今回は宅地造成に伴い9回目の調査として遺跡の北西側、162㎡の発掘調査を行いました。そして面積的には少ないながらも調査区内からは弥生時代後期の竪穴住居跡3軒、奈良・平安時代の竪穴住居跡4軒・掘立柱建物跡1棟が検出され、出土遺物量も多く非常に内容の濃い調査となりました。

その中で今回ご紹介いたしますのは、検出された奈良・平安時代の竪穴住居跡のうちの1軒、1号住居跡から非常に良好な状態で検出されたためずらしいカマドです。煙道部(煙を出すところ)に須恵器の甕を2個体連結し、煙道を構築したもので、また焼成部(火を燃やすところ)中央から、支脚(土器を支え火の通りをよくするためのもの・現在の五徳)として使用していた曾谷ノ窪瓦窯産のものと思われる瓦も出土しました。他にもこの住居跡内から



天神台遺跡(第9地点)全景

は同様の曾谷ノ窪瓦窯産の瓦が2点検出されており、おそらく木下廃寺や曾谷ノ窪瓦窯と何らかの関わりを持った住居跡としてとらえることができるものです。

今回は広大な遺跡のほんの一部の調査でしたが、今までの調査成果や今後の発掘調査とあわせ、古代寺院と集落との関係、瓦の生産体制や集落との関係などを明らかにしてゆくための資料として、重要な成果が得られたものと思われます。

佐倉市六崎外出遺跡(第6次)



遺跡全景

六崎外出遺跡は、佐倉市東部に位置し、JR佐倉駅から南に約1kmほどの地点に所在します。この地域はすでに宅地化が進んでおり、この遺跡も過去に5回の調査が行われています。今回は第6次調査として、平成13年4月16日より5月15日の1ヶ月間にわたって発掘調査を実施しました。調査面積は約100㎡と小さかったものの、検出された遺構は縄文時代中期の住居跡3軒、小竪穴7基、古墳時代中期の住居跡1軒、古墳時代後期の住居跡5軒、中・近世の土坑1基と、幾重にも重なった状態でした。

これは過去に実施された調査の結果ともほぼ符合し、本遺跡は縄文時代中期の大集落であり、更には古墳時代においても前期から後期に大集落が営まれていたことがわかります。

今回の調査で特筆すべきことは、古墳時代中期から後期にかけての変遷過程における資料が、遺物のみならず、住居跡が重なり合っていたこと(切り合い関係：古い遺構を壊して新しい遺構を作ることから、作られた順番が推定できる)からも確認でき、今後の整理作業での成果が期待されます。

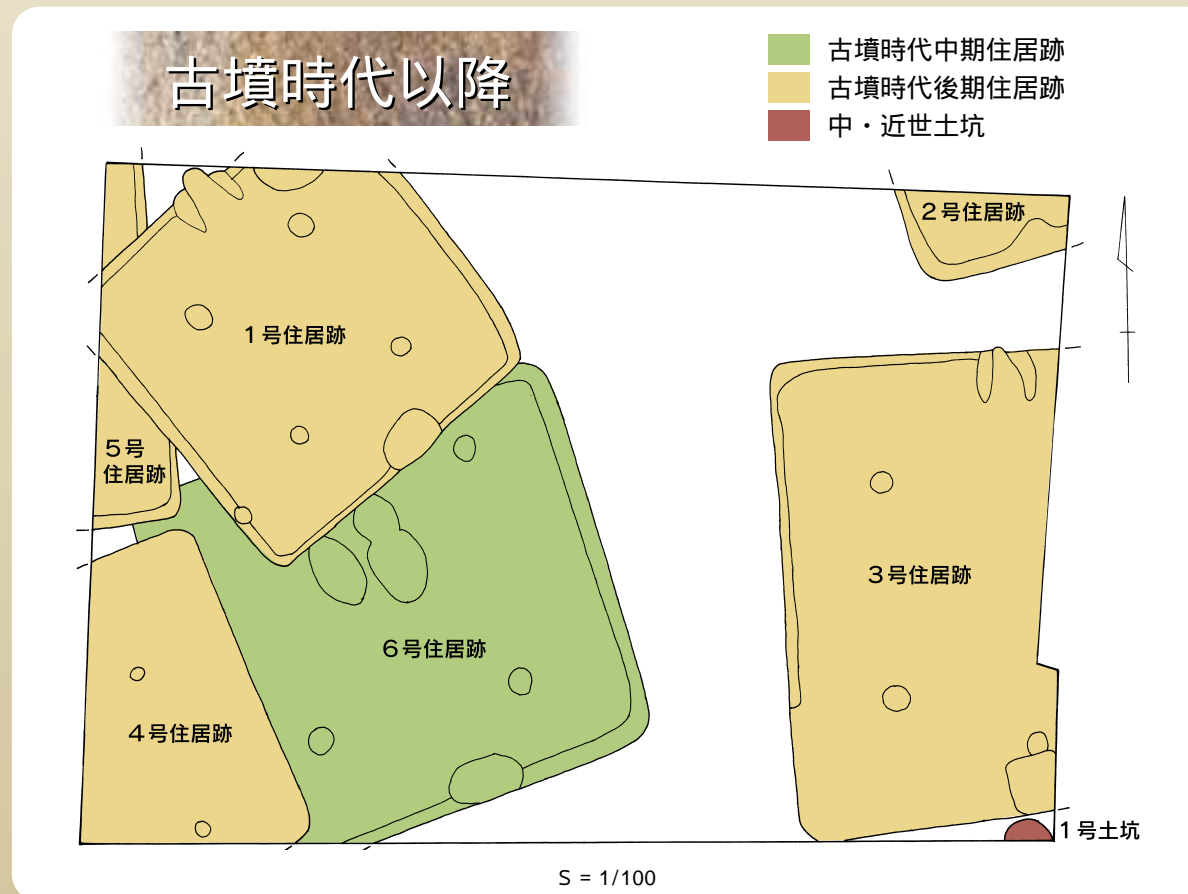
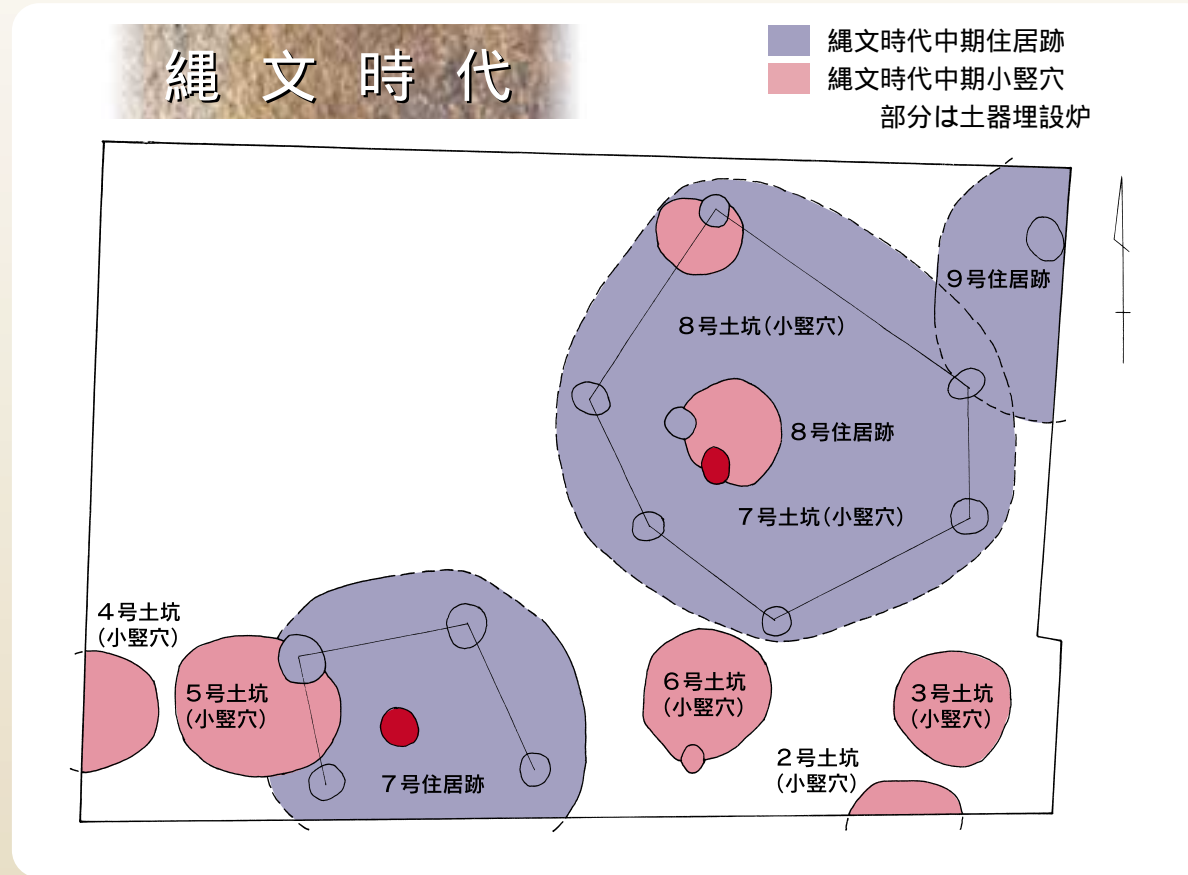
また、縄文時代中期住居跡の炉跡は土器埋設炉^{どきまいせつろ}という、土器を埋めて作られたものでした。これらが残されていた結果、古墳時代の住居跡によって大半が壊されてしまっていた縄文時代の住居跡を特定することができました。



1号住居跡完掘



2号住居跡出土状況



佐倉市六崎外出遺跡(第6次)の位置と周辺の地形



6号住居跡完掘



7号住居跡完掘



7号住居跡土器埋設炉



2号小竪穴